

## SLIM 15

## 証しと感想

## 心の奥深いところで

曾我部実穂

ミラノ賛美教会

私にとって、SLIM Conferenceは特別な場所であり、集会です。今回で3回目の出席になりましたが、その3回ともに神様の私に対する強い意志を感じさせられます。



クリスチャンホームに生まれた私は、クリスチャンであること、また自分の生い立ちから、いつもこの世の中に（日本の社会に？）ズレを感じて生きていました。けれど「特別な自分」が嫌で、いかに「普通の自分」を演じるかに必死でした。自分で言うのも何ですが、かなり上手に「普通」を演じていたと思います。そして、「普通」でいるために神様の声や存在を無視する必要がありました。まあ、そんな生き方にも限界があるので、高校生の頃から世の中からドロップアウトしていくんですが……（苦笑）。けれど、幼い頃に身につけた“神様を無視する技”は、自分の中にしっかりと残っているんです。（もともと人間の得意分野だと思いますし。）

そんな私に神様は、過去2回のSLIMで必要な癒しと慰めの時間をくださいました。そして、本当は神様がずっと私に語り続けていたことを、“もう無視してはいけない。”と、次のステップに進むための準備をさせていただいたと思っています。

今回、スモールグループリーダーと、賛美リードをさせていただきました。私自身は、本当に足りない者で、反省する所が多くあります。けれど、神様からしたら、“あの私”がそういう場に立ったということだけで大成功だったのではないかと思います。

また「栄化」のメッセージを受けている時、祈りの時、私は自分の心の奥深いところが震えていました。今、この時、神様がはっきりと示してくださいました。主の臨在の意味を考えていきたいと思えます。

今までの私は、神様への情熱をひた隠して、ごまかしていました。SLIM15を通して、その情熱をもっと素直に表せるんじゃないか、いや、表していきたいと思われています。

最後になりましたが、SLIM15の参加者、奉仕者、メッセージャーに感謝します。そして、何よりも神様に感謝して。





## 神の栄光と力と愛

ゲルスタ・アンドレアス

スイス日本語福音キリスト教会

春の始まり

に、ヨーロッパに住む日本人クリスチャンと一緒に、イタリアの美しいサン・ペレグリーノでの

聖書の学び、スモール・グループでの交わり、ジェラート、賛美などを楽しくすごせたことを心から神に感謝します。

聖霊様の働きを一人一人の中に見たことも感謝します。とくに分かり易い説教と、互いに証しをすることが僕にとって一番大きな励ましとなりました。クリスチャンとしての人生が、どんなに恵まれ、希望に満ちた人生かと、勉強して励まされました。機会があれば、来年もまた行きたいです。神の栄光と力と愛に目を向けた素晴らしい体験でした！誰にでも心からお勧めします。



## 神様の愛と哀れみ

新井美瑠香

ロンドンJCF

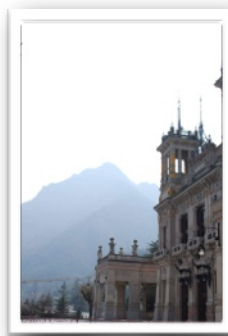
去年に続いて今年もSLIMに参加できたことは、恵であり、勉強や就活のことを全て委ね、神様だけと対面する貴重な機会でした。美味しいご飯が備えられ、体も心も満たされ、神様の御言葉を受けるのに最適なコンディションで先生たちのメッセージを聞き、スモールグループで学ぶことができました。そして何よりも、受けた恵を周りの人たちにも知ってほしいという願いがより強くなりました。



最後の晩に、青年たちと証会をする機会も与えられ、神様はみんなにそれぞれの道、賜物や計画を与えられていることを実感しました。世界中で日本人の兄弟姉妹たちが仕事場や家族との生活の中で、神様を中心に頑張っている話を沢山聞いて勇気付けられました。スモールグループでは、文化の違いや年齢の差などを気にせず正直に疑問を述べたり、共に聖書を開き、話し合うことで、言葉にも表せないほどの喜び、平安と祝福に恵まれました。「神様の理想の人間関係ってこういうことなんだ」と思えるような体験でした。

特に印象に残ったのは安藤先生のお話でした。ルカによる福音書5章で、シモン・ペテロが釣りに行ったものの、何も取れず、失望している時にイエス様が声をかけるお話です。イエスがペテロに、「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をなさい」と言います。安藤先生は、ペテロがイエス様の言葉を聞いた

時、自分の漁師としてのプライドがあり、「自分はプロなんだけど」という気持ちではなかっただろうか、と説明されました。それを聞いて、初めて福音の話聞いた時の自分とペテロの姿が重なりました。人生のプロ



だったかのように、「今までこういう価値観で生きて来たんだ、余計なお世話だ」という意地を張っていたのを覚えています。

そして、古い自分が未だに聖霊様の声を無視し、自分の生き方で生きようとする自分があります。聖霊様を無視し、自分の声に従い、失敗し、落ち込み、神様に話すのが恐くなりますが、イエス様はペテロに「恐れるな」と言ってくれたことを安藤先生は強調してくれました。神様の愛と哀れみの深さを表した言葉です。今も神様を無視し、自分のやり方で問題を解決しようとしたり、困難を乗り越えようとする



ようとするありますが、その言葉を思い出すことで、悔い改め、再び神様の元へ導かれます。

この感想文には納められないほどの恵がたくさんありましたが、機会があれば是非またSLIMに参加させていただきたいと思います。SLIMの運営に携わった方々、そしてSLIM参加者やスタッフのために祈られた方々に改めて感謝いたします。本当に素晴らしい時間をありがとうございました！

## SLIM (Servant Leaders In Ministry) Conference

は、次世代を担うキリスト者が、主への奉仕の働きのため、サーバント・リーダー(仕える者)として整えられことを目的とした三泊四日のリトリートです。ヨーロッパに住むクリスチャンの霊的成長や、求道者が福音に触れる場として、豊かに用いられてきました。

そして、このような集いを通して、献身の思いを与えられ、牧師・宣教師を目指し神学校の門を叩いた者も起こされました。また、かつての参加者たちも各々が導かれている教会の中で、役員/世話人/執事といったリーダーとして用いられるようになりました。そのような「次世代リーダー」がキリストの体を立ち上げる「成熟した者」(エペソ4:12)となるために集い、励まし合い、共に学び、共に祈る場として用いられることを願っています。

実行委員の間では「今年は硬派にしよう」となり、聖書の学びに専念できるようなプログラムとスモールグループを組ませていただきました。このスモールグループを通じた「聖書の学び」は来年はより一層力を入れていく予定です。2016年の開催予定は以下の通りとなります。今すぐ手帳を開いて、ぜひご予約ください。来年はドイツで会いましょう！



2016年4月14日(木) - 17日(日)  
Christliche Gästehäuser  
Monbachtal, Im Monbachtal 1  
75378 Bad Liebenzell, Germany

SLIM15実行委員長 増谷啓  
シュトゥットガルト日本語教会  
www.slimconference.org

応答をしていくということ

名瀬 幸絵

ミラノ賛美教会



私の生活の場であるイタリアでSLIMが開催され4回目。このような祝福の場に招かれ、参加できることを何より感謝しています。キリストの体を立ち上げるために、サーバントリーダー（仕える者）として整えられることを目的としていることは、これまで何度も聞いていましたし、SLIM開催のために祈りもしてきましたが、本当の意味

では理解出来ていなかったのか、今まで見えてなかったことが広がって見えてきた部分があるのか、解りませんが、私の内側に住んで下さる方の思いを聞き、応答していくということ。

これまで 青々とした緑の牧場で守られ、豊かに牧されてきた羊が、羊飼いの心=イエスの心を持つ者への変化を願い、整えられ、用いられたいという思いは、自らの望みというより、神の目的であり、使命であることも、より明確にされました。聖書から、福音の基本をしっかり学ぶことは、信仰の土台として大切であることも実感しました。

自分の置かれている環境、仕事では7年目に入り、気付けば、大御所の職人の次に、自分が勤務歴だけでみたら、長い存在となりました。自分の見ている世界と、神様が自分を置いて見ている世界。自分が願う世界と、神様が願う世界について、仕事をしていても、日常生活でも日々考え、自分の心の調整の必要を感じます。神様が与えてくださるヴィジョンに、喜びによって、聖霊によって、応答していく者へと変えられるように祈ります。



異文化体験する者同士で

トムセン・チャーリー

スイス日本語福音キリスト教会



今年はいろんな方から勧められ、教会からの援助もあり、初めてSLIMに参加させていただき、素敵な時間を過ごすことができました。中川先生のメッセージを通して色々勉強になり、わからない事があればその後のスモールグループの時間で相談して、他の人の意見を聞くこともできてとても良かったです。

自由時間でも同じ歳頃で、外国で異文化体験している青年と出会って日本語で話せて楽しかったし、とても心強く感じました。また是非参加させていただきたいと思っています。



お風呂上がりの気分です！

H.Y.

オランダ



スリムに行けてとってもよかったです！3年ぐらい前から行きたかったんですけど私はずーっとうつ病をわずらっていました。昨年も行こう、って思っていたのにも反してこんな難しい所に一人で行ける訳がないってサタ

ンの声に負けてしまいました。

今年、とうとう一人で行って神さまの導いてくれるところなら行けるんだという確信も与えられました。同じように年配



(?)の姉妹が「来れると思ってなかった～うれしい～」と言ったので、あ～私だけではないんだって思いました。

スリムはもちろん次世代の弟子訓練がテーマ、これが素晴らしい、パンくずに預かる者として満腹です。天国では年の差もありませんからね。(そう信じて?)ハーベストタイムを見ていたので中川先生のメッセージが生で聞けるなんて本当に感激でした。

生きている間にゴールの情報をもっともっと知りたい、そういう思いにされました。おまけにど素人(+おばさん)なのにずうずうしく賛美のチームにも入れてもらい聖霊の満たしに浸かってお風呂上りの気分です。



## 世界観としてのキリスト教

K. K.  
ロンドンJCF

スリムではクリスチアンの世界観を基礎から学ぶことができました。クリスチアンが人間の歴史をどう見るか、現在をどう見るか、そして未来をどう見るか？という過去、現在、未来のくくりの中でクリスチアンライフを考える機会がありました。それを通して1) 生きる苦しみはどこから来ているのか？2) 本当の希望は具体的にどこにあるのか？3) 神の恵みを意識した生活はどんなものなのか？そういった聖書が語るメッセージを知ることが出来ました。

今まで僕が聞いてきたメッセージは、ところどころの箇所を深く掘り下げて学ぶという事が多い一方、総合的にクリスチアンとは何なのか？という学びが少なかったと思います。

今回の参加で、喜びと希望の根拠をおさえるきっかけにもなりました。自分で達成しようとするということではなく、神様にさせていただくことに考え方のベクトルを変えること。「聖なる手抜き」の大切さを学びました。今回のおかげで、喜びや希望の事や、神様の事がもっとわかりました。

## 義認、聖化、栄化

佐々木千恵子

シュトゥットガルト日本語教会

初めての参加でしたが、たいへん恵まれた時間でした。実行委員、そして、ご奉仕の方々、ありがとうございました。

中川健一先生の\*義認\*聖化\*栄化\*のメッセージで、クリスチアンの希望、死後のこと、もやもやしてよくわからなかったのが晴れてきました。感謝です。

スモールグループの話し会いは心に響きとてもよかったです。心より感謝して



## 一人一人を大切に

大島邦夫  
オランダ

生きていく上で人を信じることが出来ることは大きな幸いです。逆に信じられない、という状況があればどれほど深い傷を負うでしょう。僕の内側で抱えていたこの傷によって、教会とはどういうものだろうかとずっと考えさせられてきました。

今回、SLIMに参加してみて、人々との出会いの中で僕の傷が癒やされていくような気がしました。先生方のお話の後にスモールグループになった際、お互いに、相手の悪いところを見るのではなく、良いところを発見するようにしようという提案がありました。

僕達8人のグループでは、最後に一人ずつの「いいところ」を書いて、それをその人に手渡すようにしました。だから、各々、7枚ずつのカードを受け取ったのです。実際、僕も受け取ってみると、自分は至らないところがいっぱいある人間なのにもかかわらず、それぞれの方がいいところをいくつか見付けて書いて下さいました。励まされ、元気が出てきて、とてもうれしかったです。そこに、イエスの眼差しがあったからでしょう。

SLIMでは、十分な休み時間やまた食事時間がとられていたので、人々と語り合う時間がゆったりとあることも大きな

恵みでもありました。「出会い」とは文字通り自分の部屋から「出て行って、会う」ということだと実感させられました。

初めての人の隣に座って共に食事をしながら語る時、この出会いは偶然なのではなく神さまの必然があったのだ、とも感じさせられました。そして、話し合う中で、普段あまり周りの人には相談できないような事柄も、こういう場面ではなぜか素直に話すことができたりするのも出会いの不思議さではないかと思いました。

そのような事をおしていくつかのことに気がつかされました。今必要なのはぬくもりではないかと思ったのです。一人ひとりを大事に、大切にすること。きっと、求められていることは、イエスの暖かさ、優しさ、身近さと親しさではないか感じたのです。

その意味では、僕たちは、一人ひとりがイエスの教会なのかもしれません。だとしたら、教会に求められている能力は、人々の「傷を癒やす能力」だと思いました。そこにいる人の存在をしっかりと受け止め、相手に心から関心を寄せて話を聞く。そこから福音の喜びが「出来事」として起こっていくのではないかと感じました。

SLIMに参加された方々が、生き生きとした顔で帰路に就く様子を見て、僕も主の喜びを感じました。

来年のSLIM16が今から待ち遠しい気分です。





## 「天に届いた祈り」

大島みどり

オランダ

小さいころから、母に手を引かれて教会に通っていた私には、背景の異なるクリスチャンに会うと人見知りしてしまうという、悪い癖があります。日本にいた頃は、あまり意識しなかったことでした。ヨーロッパに来て、さまざまなクリスチャンに出会うことにより、教えられたことも多かったのですが、深く傷つく体験も無かったわけではありません。

先生方のお話を伺いながら、またスモールグループに分かれて話し合いながら経験したことは、結局のところ、違いを探すよりも、御言葉の伝える核心を共有して得る大きな喜びでした。まさに、今回のSLIMのテーマ「聖書が与える同じ思い」を、身をもって味わうことになったのです。私たちは、なんて大きなプレゼントを神様から頂いているのでしょうか、と改めて思いました。



美味しい食事を楽しみながらの会話のなかで、隣りに座った姉妹に、悩み、苦しみがあることを知りました。そして、その瞬間から、新しい祈りが始まります。以前、試練のただ中にあった姉妹が、今回は輝く笑顔で奉仕されているのを見る時、祈りは、確実に天に届いていることを思うのです。

こんな私たち夫婦が、盲導犬を連れて毎年SLIMに参加出来たことも、どなたかのお祈りがあったことの結果でしょう。かくして、私たちのSLIM熱は、当分の間、さめそうにありません。

## 「私に従うか」

S.K.

シンガポール

SLIMに参加する前の数ヶ月間、神様がペテロに三度問いかけたように、私に対しても何度も何度も問いかけている感覚を持っていました。その度に、神様を信頼しきれず、何とかその問いから逃れよう逃れようとしていました。

一昨年夏、仕事の関係で日本からシンガポールに転居しました。シンガポールでの生活に慣れるにつれ、日本とは全く違う商習慣や生活習慣に馴染むことは、帰国後の生活の妨げになるのではないかという怖れを強く抱くようになりました。その為、教会の奉仕も、会社の仕事も一歩踏み込まず、後戻り出来る範囲にて留めて置くという立場を無意識に取っていました。然し、神様はそのような私に対し、「私に従うか」という問いを何度も何度もかけて下さっていました。

今回のカンファレンスの「栄化」の学びにおいて、救われた者が受ける栄光は、キリストの再臨の際に与えられる栄光の体であること、その栄光に比べれば、地上の労苦は取るに足りないということを知りました。自分の思い煩いは、神の視点からは取るに足りず、地上の何処で生きようと、国籍は天にあり、主が下さる栄光は、想像を超えた壮大で素晴らしいものであることを実感しました。

主が下さる以上に素晴らしいものはないという確信が与えられ、シンガポールの地でも主に従う勇気が与えられました。折しも、カンファレンス中に教会にて総会が行われ、今年度、新任役員となることが決められました。今、この与えられた役を主からの召しとして、平安のうちに受けれること感謝です。どうか足りない私が主の器として用いられますようお祈り下さい。

神はあらかじめ定められた者たちを召し出し、召し出した者たちを義とし、義とされた者達に栄光をお与になったのです。(ローマ8:30)

## はじめて SLIMに出席して

クスター節子

スイス日本語福音キリスト教会

SLIMは若い方のリーダーシップカンファレンスなのでもう人生の最後のカテゴリーに入り出したわたしとは関係ないと思っていましたが、中川先生が講師としてご出席下さると聞き歳も忘れて申し込みをしていました。

結果として出席できたのは本当に神様からの恵みでした。中川先生のお話は期待どおり素晴らしいお話でした。

その上、一番素晴らしい学びはスモールグループを始める時に「グループの一人ずつの良いところを20個書き出すように」との宿題でした。

非常に難しく20個どころか5個もおぼつかないのが現実でしたが、この学びによってイエスキリストの云われる「あなたの隣人を愛せよ」をどのようにして実践したら良いかを教えて頂きました。

また修養会のぎっちり詰まったプログラムと違い、ゆとりの有る時間割、食べる事の好きな私ですのでゆったりとお食事を味わう時を持てた事は、霊、肉共に良く咀嚼でき満腹感を味わったカンファレンスでした。

原点に帰ることが出来ました

ヘス明美

スイス日本語福音キリスト教会

今年で3回目のSLIM参加となりました。今年も参加させて頂き、神様と家族に心より感謝しています。今回のSLIMでは、とても落ち着いて、時間をかけて、聖書と聖書が啓示する神様をより深く学ぶ事が出来ました。今までも沢山のみことばを聴いてきたつもりでしたが、こんなにしっかりと“救い”について聴くことは初めてだったように思います。各先生方のメッセージや講演も恵みと祝福に満ちていて、とても素晴らしく、一人の先生に複数回お話をさせていただき、続けてみことばを聴く事ができるのはとても良かったと思いました。その後続くスモールグループでは、聴いたメッセージを更に掘り下げて、お互いの理解をより良くする事が出来て、新たな発見や学び、またそこで気づかされたことも沢山ありました。

自分がどれだけ罪人で、神様を苦しめている存在であるか、また、そんな私のために十字架にかかって死んで下さったこと、そして、死に勝利して復活されたこと、改めて原点に帰ることが出来て、本当に感謝しています。まだまだ神様に喜ばれる器になるにはほど遠い私ですが、一步一步聖化の道のりを歩いていけたらと思っています。メッセージを取り次いでくださった先生方、色々な奉仕をして下さった実行員会の皆様には大変お世話になり、誠に有り難うございました



義認、聖化、栄化

フリードリヒ 村上 希與子

北ドイツJCF

この大会に参加できたことを、主に心より感謝しています。

そして、実行委員の方々、メッセージを取りついでくださった先生方、スモールグループのリーダー、サブリーダーの方、グループのメンバー、同室の姉妹に、こころより、お礼をもうしあげます。

毎年、教会でこのConferenceの案内がありますが、聞き流していました。次世代を担うだけの体力が残されていない者は、対象外だと思っていたからです。日本に里帰りすることが多く、心がざわついて、教会生活も落ち着かず、整えられ



たいという願いが芽生えている折りに、ある方が、誘ってくださって参加を決めました。

ドイツと日本を往復するだけの今の私に、たった一人で、異国を訪れるというのは、冒険でした。行く前、スリの映像を見たりして、イタリアが怖くなり、「なんで、そんな危険なところに行くのか」という思いまで抱き始めました。言葉も全く通じないだろうし。。。

でも、そんなことは、主におゆだねすべきことでした。ちゃんと、わたしを無事に往復させてくださって、霊肉ともにたらせてくださいました。いろんなことを学ばせていただきましたが、と

くに目からうろこが落ちた思いがした点は、次のことです。

いままで、受難と復活について、さりとて理解したつもりになっていました。クリスチャンだから、信じられる、それでいいじゃないか、と思っていました。しかし、イエス様の十字架での死が、一度きりの過去のことで、そのことで、私たちが義と認められ、人間として、肉体的に葬られたイエス様が、復活されたことで、わたしたちが、新しい原則のもとに生きていける、復活は、現在進行形で、未来の完全な神の国に至る道であることが、はっきり理解できました。

教会生活を長く続けていて、自分の信仰を深めようと一生懸命礼拝を守り、祈り会にも参加してきましたが、それだけにとどまって、周りの者を導かない「利己的クリスチャン」であった自分を反省しています。前期高齢者のわたしでも、スモールグループを導くことができるかもしれない、という新しい観点が与えられました。

今の私にとって、そのグループは、家族かもしれません。幼い孫たちもきっと、私が仕えるべき人達なのでしょう。イエスさまから、遣わされた「ばあばあクリスチャン」として、この世での人生の残りを駆け抜けたいと思います。行ってみたら、同世代であろうとおぼしき方々が数名いらっしゃいました。いろんな、出会いに心より感謝しています。

SLIMConferenceは、私にも呼びかけられている大会でした。ありがとうございました。2回、3回とこれからも参加できるよう、主に祈っています。





聖書信仰にかたく立つ

福森真樹

ベトナム/ハノイ

2014年初参加したSLIMカンファレンスでスモールグループバイブルスタディの進め方について教えられたことをベースに、1年間ハノイで週一回のバイブルスタディを進めてきました。聖霊の導きに委ねること、よく聴くこと、質問のバランスや発話への配慮、へりくだって仕えることなどに意識的に従うよう心がけ、主の恵みによって、メンバーからキリスト・イエスを主と告白する方が起こされ、信徒メンバーからもまだ信仰の確信のないメンバーからも主に近づけられる者たちが複数起こされたことは、格別の主の憐れみであり、感謝なことでした。



祝福が大きかった一方でサタン攻撃も激しく、心折れそうになることもありました。そんな時に「キリストから目を離すな」と励ましてくれるクリスチャンフレンドが与えられていたことや、主に心近づけられる方々からのレスポンスで具体的な励ましをいただいたことから、主のご真実に体験的にふれた一年でもありました。

今年のSLIM本大会を通していただいた恵みは言葉にするのが難しいほどです。中川先生から教えていただいたことから「私たちに約束されている救いとは何か」が極めて明確になりました。これまで義認と聖化を混同する誤りから多くの失敗をし、身近な人の悩みにも確かな励ましができなかったことが思い出されて、主に申し訳ないやら感謝やらで泣きました。

また、私たちが何を体験するか、何をどう感じるかは基準にならず、神が聖書のことばをもって約束されたことなのだから必ず起きる、すでに起きている、という聖書信仰に堅く立つ

べきことも強く示され、聖書のことをもっともっと知りたい、学びたいという熱望が湧いてきています。SLIMはスモールグループを通しての学びや励ましを大切にしていますが、今回はスモールグループでメッセージを受けてのバイブルスタディを試みました。メッセージの分かち合いにバイブルスタディという方法もあることに目が開かれ、聞いたことを互に分かち合い学び合うことがどれほど私たちの信仰を建てる助けとなるかをあらためて知りました。素晴らしいリーダーとグループに恵まれ、本当に感謝するばかりです。



開会にあたって聞いた「羊飼いの心」というキーワードが大会中も今もずっと胸にあります。私たちが見上げる十字架におられる主イエスの心をたずねる歩みにおいて、今回のSLIM15は忘れられない4日間となりました。

素晴らしいメッセージをもって導き養って下さった先生方に、多くの時間とご労をもって準備運営して下さいました実行委員の皆さんに、主を愛して輝きを放つ参加者の皆さんの励ましに、素晴らしいホスピタリティで迎えて下さったホテルスタッフの皆さんに、心から感謝いたします。私たちがともに下さる主はすばらしいです。私たちの救い主、王の王、いのちの源であられる神の御子イエスに栄光がありますよう。

紙面の関係で福森姉のお証しの文章から一部割愛させていただきました。全文はSLIMのフェイスブックでお読み頂けます。

